

臨床研究

Lymphocytic Mastopathy の臨床病理学的検討

lymphocytic mastopathy は、乳腺症の特殊型で乳腺小葉、乳管あるいは小血管周囲にリンパ節浸潤を来す病態で、糖尿病に合併した場合には Diabetic mastopathy と命名されています。臨床的に乳癌との鑑別が困難な病変であり、不必要な外科的処置を回避する必要がある一方、最近、癌の合併症例を経験しており、本疾患の臨床病理学的な検討が必要と考えられます。このため、患者様の同意が得られれば、1990年1月から2022年12月までに本疾患と診断されました患者様を対象に、診療情報を診療録（カルテ）に基づき、調査させていただきます。

この調査では、診療情報を個人特定できないように匿名化して、集積、解析し、個人情報に厳重に保護すると共に、取り扱いには十分留意しております。この調査で得られた情報は研究目的以外には使用いたしません。対象に該当される患者様でこの調査に後陣の診療情報の使用を希望されない方や、疑問のある方は、外科 村岡 篤（むらおか あつし）までご連絡ください。ご連絡がない場合には、貴重な診療情報を本研究に活用させていただきます。治療内容、成績を解析することによって得られた知識が医学・医療の発展進歩に役立つ

つように、ご理解とご協力いただけますようお願い申し上げます。

《研究対象》

当院で Lymphocytic Mastopathy と診断された患者様

《研究期間》

臨床研究審査会承認後から約 2 年間

《研究代表者・連絡先》

763-8502 丸亀市城東町 3 丁目 3 番 1 号

独立行政法人 労働者健康安全機構

香川労災病院 外科 村岡 篤

TEL 0877-23-3111